

インドネシア語の辞書

1. インドネシア語－日本語

- (1) 『[最新インドネシア語小辞典](#)』(第1.3版). 佐々木重次(編). Grup Sanggar. 2008年.
- (2) 『[インドネシア語辞典](#)』. 末永晃. 大学書林. 1991年. **ポケット版1992

(1)の編者の佐々木重次先生は本学名誉教授。数年ごとに改訂増補を行いやすくするため、一般に市販されておらず私家出版の形を取っている。学習者にとって最も有益な辞典といえよう。

(2)は机上版であるが、1992年に「ポケット版」としてその縮刷版が出版された。なおインドネシア語－日本語辞典は、この他にも数点出版されている。

2. 日本語－インドネシア語

- (3) 『[現代日本語インドネシア語辞典](#)』. 末永晃. 大学書林. 1984年.
- (4) 『[日本語インドネシア語大辞典](#)』. 末永晃. 大学書林. 2001年.
- (5) 『日本語－インドネシア語辞典』. 松浦健二. 京都産業大学出版会. 1994年.

【リプリント版】 *Kamus Jepang-Indonsia*. Kenji Matsuura (Edisi Indonesia). Jakarta: Gramedia Pustaka Utama. 2005年.

手頃な大きさと優れた日本語－インドネシア語辞典は残念ながら無い。強いて挙げるならば(3)だが、いささか古くなり用例も乏しい。(4)は、(3)を増補した机上版。

現時点でどれか一冊薦めるとしたら(5)であろう(サイズも大きく高価だが)。なお同書のリプリント版が、2005年にインドネシアの Gramedia Pustaka Utama 社から出版されている。

3. インドネシア語－英語

- (6) [Kamus Indonesia- Inggris \(3rd edition\)](#). J.M. Echols & H. Shadily. Jakarta: Gramedia. 1989年.
- (7) [A Comprehensive Indonesian-English Dictionary](#). A.M. Stevens & A.E. Schmidgall-Tellings. Athens: Ohio University Press. 2004年.

まず一冊薦めるとすれば(6)である。内容は古くなりつつあるが、まだ十分に使える。ある程度学習が進んだら(7)を使いたい。

4. 英語－インドネシア語

- (8) *Kamus Inggris-Indonesia* (17th print). J.M. Echols & H. Shadily. Jakarta: Gramedia. 1989年.

(8)は、(6)と同じ著者による英語－インドネシア語辞典。

5. その他

- (9) [Kamus Besar Bahasa Indonesia \(4th edition\)](#). Pusat Bahasa, Departemen Pendidikan Nasional. Jakarta: Balai Pustaka. 2008.
- (10) 『基礎日本語活用辞典(インドネシア語版)』. 国立国語研究所. 1988年.
- (11) 『[インドネシア語単語頻度順 3535](#)』. 森山幹弘(編). めこん. 2009年.

(9)はインドネシア教育省言語センターによる「標準」を目指した国語辞典。

(10)は非売品。インドネシア語による日本語の説明が詳しい。現在ではオンライン上で参照できる(<http://dbms.ninjal.ac.jp/nknet/kamus/>)。

(11)は、使用頻度の観点から編集された点で学習者にとって大いに参考になる。

(2011年2月現在, 降幡記)